

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2008
平成20年

9.15

広報は月2回発行へ

目次

あの人たちが里帰り! 「オアシズ」	2
がんばる市民 「コスモスを咲かせよう!」	3
泉校区	4
体力づくり「若戸小学校」	5
ちはらシティニュース	6
田原市民活動支援センターのページ	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

笑顔咲く
彩りのシーズン!





▲和やかな雰囲気の講演会



▲笑顔あふれる満席の会場



▲光浦靖子さん(左)と大久保佳代子さん(右)

あの人たちが里帰り!

田原の人はあつたかいねえ

田原市出身の人気タレント、オアシズの光浦靖子さんと大久保佳代子さんが、8月16日(土)に田原文化会館会議室で講演会を行いました。

この講演会は、中央図書館が第2回キヤリアデザイン講座として開催したもので、「働く、食べる、読む、学ぶ」をテーマに、お二人の芸能界に入るきっかけや、仕事における体験談などについて楽しく聞くことができました。

マイナス思考をプラスにかえて

光浦さんは大学生のころ、人と話すことや、あいさつをすることが大の苦手でした。ショック療法で自ら克服しようと、大久保さんを誘って出たのが漫才のオーディション。自分の苦手な部分(マイナス)が笑い(プラス)になる仕事なんて、あるんだあ。と思ったそうです。15年以上も芸能界で活躍するお二人ですが、今でも仕事で落ち込むことは多く、前向きに考える工夫が必要だと話してくれました。



オアシズにインタビュー

Q ふるさと田原の魅力は?

A 子どものころには気付かなかったけれど、自然が豊かできれい。いい所もたくさん。何よりも人があつたかいところが良いですね。面白い人も豊富だと思います。

Q どうしたらもっと良くなる?

A 街をコンパクトにして、徒歩で移動して楽しむことができると良いですね。子どもが遊べる所も大切だと思います。

Q お気に入りの風景はどこ?

A ・三河港大橋が見えると、帰ってきたなあとほっとします。(大久保さん)
・流木を拾いに行った大草海岸の白い砂浜が印象的でした。(光浦さん)



▲蔵王山と三河港大橋



▲大草海岸



コスモスを咲かせよう！

国道42号沿いのコスモス畑が見ごろを迎えています。

そこは、菜の花畑で知られる和地の畑。しかし、菜の花の開花時期以外は遊休耕地になっていました。

「常に花のある地域づくり」に取り組んでいる和地校区は、この遊休耕地を観光資源として活用しようとコスモスの種をまきました。こうして咲いたコスモスの花は、まるで地域の皆さんの笑顔のようでした。

コスモスの種まき



7/3
(木)

和地小学校の4～6年生と校区役員の皆さんでコスモスの種をまきました。

小学校の裏山にある展望台から見たら、ピンク色のじゅうたんみたいに見えるといいなあ。
(和地小学校5年生女子)

コスモス畑の草取り



8/24
(日)

校区の皆さんで草取り。暑さに負けずに育つコスモスに元気をもらいました。

天候に恵まれず苦労しましたが、咲き始めたコスモスの花を見てホッとしました。
(和地校区女性)



キレイなコスモス畑に！



9/5
(金)

街道に彩りをそえるコスモスが、秋の訪れを感じさせてくれます。

国道42号「コスモス街道」を目指したい和地校区の試みは始まったばかり。皆さんは、今年の経験を生かして、来年はもっとたくさんのコスモスを！」と意気込んでいます。

広報サポーター カメラリポート

カメラリポート
デビューです！



山内リリィ
(ペンネーム)

★90歳の庭師 渡辺類治さん(八王子町)

二階に達するほど大きくなった庭の木を切ってもらったため、タウンページで庭師をチェックして、早速来ていただきました。

庭師の渡辺類治さん。なんと、今年で90歳になるそうです！しかし、まだまだ現役バリバリ。1日7時間労働で、がんばっています。

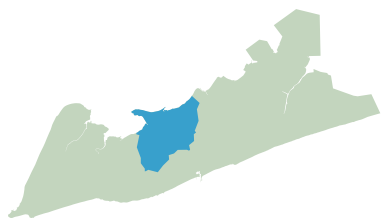
そして、大きかった木は渡辺さんの手によって、見事にすっきりとカットされました。暑いなか、お隣の畑に迷惑をかけないよう細心の注意を払いながらの作業は、かなりキツイものだったと思います。



「好きなものでねえ…」と話しながら、確実に仕事をこなす渡辺さんの姿に、とってもパワーをいただいたリリィ。リリィも、そんなふうになんか仕事をしていきたいです。

基礎データ

【人口】4,018人(H20.7.31現在)
【世帯】1,161世帯(H20.7.31現在)
【面積】約1,947ha
【公共施設】泉保育園・泉小学校・泉中学校・江比間野外活動センター
【史跡】伊川津貝塚・鸛石・泉の池・宇津江坂など
【観光】潮干狩り
【主な産業】農業(露地野菜・施設園芸)・畜産業・漁業



泉の祖先是 遙か縄文人...

校区は、大正11年、伊川津貝塚の発掘により、縄文晩期から後期に人の営みがあったとされている。人骨をはじめ土器、石斧、石鏃、骨角器などが多く発掘された。中でも「盤状集積墓」に埋葬された犬歯・門歯の抜かれた頭骨や、犬歯・門歯を研磨した「叉状犬歯」の頭骨は大変有名である。

また、伊川津南部の泉の池は、四季を問わず常に冷たく綺麗な水が今も湧き出ており、泉村の村名もここに端を発したと伝えられている。池のほとりには神様が祭られており、今年も7月20日に「水神祭」の祭事が行われた。



自然環境豊かな校区

国道259号を挟んだ南側は、赤石山系に続く山並みの「七つ山」「白山」「大山」「雨乞山」と、緑豊かな山々がある。その麓に八王子、村松、馬伏、石神の集落。

また、北側は波穏やかな三河湾に面し、宇津江、江比間、伊川津の集落がある。平成10年の宅地分譲により新しく夕陽が浜地区が誕生し、校区は8地区で構成されてい



絶景と磯の香りの宇津江海岸

泉

校区自己紹介

る。一村一校で人との結びつきの大変良い地区である。

史跡・名所巡り

桜のシデコブシ

桜のシデコブシ群落は、国の天然記念物に指定されている。山麓湿地に約200株が自生しており、樹高2～3m、胸高周囲は10m内外である。3月下旬から4月上旬に白やピンク色の優雅な花を咲かせ、各地から観光客が訪れる。



なお、この近くには、県指定の伊川津シデコブシの群落地もあり、また、伝説で知られた「鸛石」、
「膳貸岩」も見られる。

雨乞神社の石剣

校区最高峰、石神の雨乞山(231m)の頂上近くに雨乞神社があり、このご神体として石剣が奉祠してある。この神社は、夏の日照りが続き干ばつになると村中の者が集まり、雨乞い祈願をすれば必ず降雨に恵まれるといわれている。山頂からの景色は実にすばらしく、南に太平洋、北は三河湾が一望できる。また、山道の途中にミツバツツジの群生があり、3月下旬

には見事に花を咲かせている。

泉のブランド商品は...

主産業は第一次産業で、中でも農業が中心である。露地栽培から施設園芸に大きく転換し、キク、メロン、大葉などの花や野菜が出荷されている。

全国出荷の「観葉植物」

村松町では昔から温室栽培が盛んである。観葉植物栽培は有名で、数多くの品種を栽培している。中でも「アンズリウム」「幸福の木」などの品種は有名で、全国に出荷されている。

海の幸「江比間のアサリ」

江比間町には、遠浅の砂利海岸があり、そこに三河湾の潮の流れと、新堀川、紺屋川、今堀川の3川から肥沃な水とが入り混じること、模様鮮やかな江比間のアサリが繁殖する。3月から5月の時期は特においしく、県内の高級料亭にも江比間のアサリとして利用されている。



泉小学校の児童たちも、毎年祖父母と一緒に海岸清掃を兼ねて、潮干狩りを楽しんでいる。

(文:泉校区)



学校は、今...

Pick up

若戸小学校

▶ <http://www.city.tahara.aichi.jp/school/wakato-e/>

近年、子どもたちの体力が低下していると言われてい
ます。市内の小中学校では、地域の自然や環境を生かした体
力づくりに取り組んでいます。

今回は、学校の裏山や海岸を生かした体力づくりに取り
組んでいる若戸小学校の教育活動についてご紹介します。

SCHOOL REPORT ②

地域の環境を生かした 体力づくり



「小山は楽しいよ」
「小山で遊ぼう」
「基地をつくろう」
「小山で探検ごっこ」

子どもたちの楽しそうな
声が聞こえてきます。

子どもたちは、学校の北側にある「小山」
が大好きです。自由に小山に登って遊びま
す。登山道には、子どもたちが考えた遊具
を配置し、楽しい遊びを通して体力づくり
を行っています。



山や海で体育 ～自然を生かした体力づくり～

海岸の砂浜は、か
っこうの体力づ
くりの場です



「海で体育の授業。小石などを拾っ
た後、『ジグザグタッチリレー』をし
ました。1回目は勝ったけど、2回目は
負けてしまいました。次に、『三すくみ
宝取りゲーム』をしました。楽しかつ
たけど、うまくできないこともありま
した。今度は、もっとがんばろうと思
います。(6年生女子)



たてわりで遊ぼう会 ～異学年交流で体力づくり～

「『けいどろ』をやって、みんな元気よく走
っていて、とても楽しそうでした。1年生も
みんなタッチできてうれしそうでした。『た
てわりで遊ぼう会』が大成功で、うれしか
ったです。(6年生男子リーダー)



全校児童を6グループに分けた「たてわ
りで遊ぼう会」では、6年生が中心になっ
て、みんなで遊べるゲームや運動を考えて
います。学年の枠を超えて、体力づくりだ
けでなく、楽しみながら仲間づくりが広が
っています。

- 1 ジグザグタッチリレー…ボールを置きジグザグに走る往復リレー
- 2 三すくみ宝取りゲーム…3グループによる宝取りゲーム
- 3 けいどろ…警察と泥棒に別れて人を取りあうゲーム

● 指導課 ☎ 23 局 3 6 7 9

8/27 日本4連覇達成！
(水)

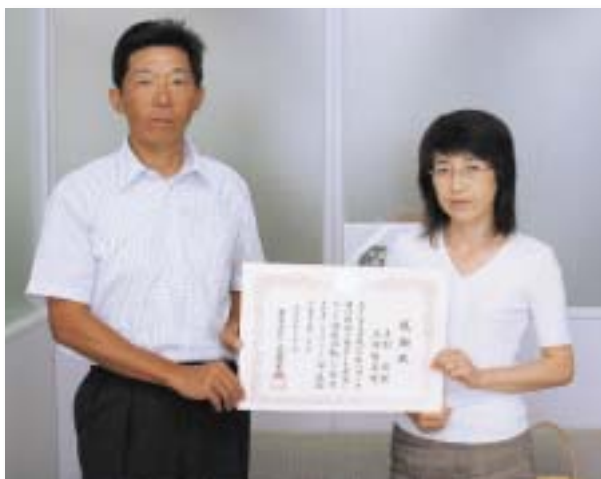
アメリカで開催された世界少年野球大会に、東部中学校3年の横田拓郎くんが全国から選ばれた20人の精鋭「日本選抜チーム」の一員として出場しました。日本チームの4連覇に貢献した横田くんは「慣れない環境での体調管理や、レギュラー争いなど勉強になりました。」と話しました。



▲のびのびとプレーをする横田くん。(アメリカ・カリフォルニア州アラメダ市)

8/12 初期消火で被害を最小限に
(火)

田原市消防本部は、市内で発生した建物火災で初期消火活動を行った上村徹さん、智美さん夫婦に感謝状を贈りました。上村夫婦は、火災発見後すぐに消防へ通報するとともに、自宅に備え付けてあった消火器を持ち出し初期消火に協力。二人の迅速な行動により、隣家への延焼などを防ぐことができました。



▲感謝状を受け取った上村徹さん、智美さん夫婦。



▲杉浦さん(中)と田原市陸上競技協会長の大羽さん(右)。

8/6 目指せ！自己ベスト
(水)

全国小学生陸上競技交流大会の女子80メートルハードルに出場を決めた、衣笠小学校6年の杉浦伶奈さんが、鈴木克幸田原市長から「力を発揮して頑張って」と激励されました。



▲「全力で頑張って」と激励される岡田くん(左)と山内さん(右)。

8/4 全国の舞台で完全燃焼
(月)

全日本中学陸上競技選手権大会の男子走り高跳びに出場を決めた東部中学校3年の岡田隼矢さんと、女子100メートルハードルに出場を決めた田原中学校3年の山内萌さんが、市役所を訪問しました。



田原市民活動支援センターのページ

8月号から始まった田原市内市民活動のお知らせのページ、第2号です。
先月で紹介したセンターの具体的活動(⇒)のうち、
⑤「しみのひろば」についてご紹介します。

経過

昨年度、市から「市民活動団体交流会」の開催が提案されました。
市の呼びかけで集まった市内のグループが会の意義などについて話し合い、
開催にチャレンジしました。男女共同参画事業の講演会も同日開催され、
当日2/24(日)は参加23団体と多くの市民で賑わいました。

今年度

今年も行いたい!という希望が多数で、第2回の開催(平成21年3月1日)が決定しました。
毎月会合を行い(今年4/22より既に5回!）、より良いものを目指して話し合い発展中です。

「しみのひろば」の特色は、
参加者による自主的な運営です。
会合は時間がかかるけれど、
一体感が生まれてやりがいがありますよ!

 運営委員長・伊藤さん(渥美半島の野池を守る会)から、
やる気のお誘い

市民による活動が良くわかる機会。
今年は参加者の中で活動発表を
企画しようという声が上がっています。
楽しみです!

 運営副委員長・永田さん(女性会議WITウィット)の報告

第2回「しみのひろば」への参加申込締め切りは11月末を予定しています。申込み先は以下の投稿先と同じです。
次回の会合は 10/7(火)午後7時30分～ 渥美文化会館2階大会議室で!

参加募集

シンポジウム「本来農業への道」
～東三河から発信する
持続可能で夢のある農業～

9/28日(日) 午後6時開場、6時30分開演
田原文化ホールにて
参加費：無料

プログラム：基調講演とパネルディスカッション
主催：有限責任中間法人本来農業ネットワーク
後援：田原市

参加募集

「先輩からの贈り物」
～先輩と演劇体験～

10/16(木)～10/18(土)、
11/23(日) *コース別
田原文化ホールにて
参加費：無料(観劇券は補助有)

田原市出身の女優、渡会久美子さんの主演する「風のほこり」
<10/18(土)、田原文化ホール>を通じて、演劇体験や
舞台設営に参加してみませんか。

⇒ *詳しくはNPOたはら広場HP (<http://www.taharahiroba.or.jp/>)
または田原市民活動支援センターへ



この市民活動のためのページは、ローカル情報発信基地を目指しています。

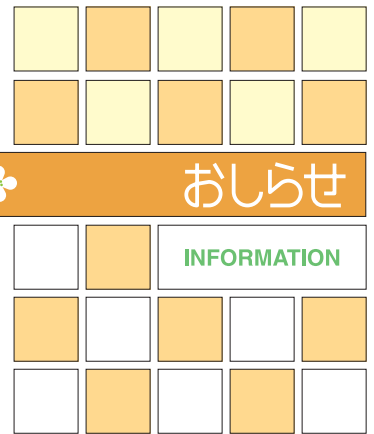
あなたが載せたい最新情報をご投稿ください! 広く市民活動に関わる情報をどんどん掲載していきます。

～ 持ち込み原稿の締切は毎月10日、月一度紙面(ここ)に掲載されます ～

*紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先：総務課市民協働係 FAX 0531-23-0180 Email: somu@city.tahara.aichi.jp

紙面作成・編集：田原市民活動支援センター



募集

WANTED

田原市臨時職員 (臨時保育士)

田原市内の保育園に勤務する臨時保育士を募集します。

▼募集人員〓若干名 ▼対象〓保育士資格をお持ちの方 ▼勤務場所〓市内保育園 ▼勤務時間〓午前7時30分～午後7時15分の間で4～8時間 ▼勤務形態〓月曜～金曜日の間で週3～5日の勤務 ▼賃金〓時給1100～1200円 ▼申し込み〓お問い合わせください。

▼児童課
23局3513 FAX 23局3545

普通救命講習会 受講者 〓救命にあなたの力が重要です〓

突然の心肺停止、それは決して他人事ではありません。不幸な突然死をなくするため、いざという時のために、AED(自動体外式除細動器)の使い方と心肺蘇生法を学び、皆さんの力を救命のために役立ててみませんか?

▼対象〓市内在住・在勤・在学者
▼日時〓10月19日(日)午前9時30分～午後0時30分 ▼場所〓赤羽根市民館 ▼定員〓20名(先着順)
▼受講料〓無料 ▼申し込み〓10月18日(土)までに直接または電話・FAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合は住所・氏名・生年月日・性別・電話番号・職業を明記)
▼その他〓講習を終了した方には修了証を交付します。

▼消防署(赤羽根分署)
45局4119 FAX 45局4120

akabaneb@city.tahara.aichi.jp

AEDで
救える命
があります。



パソコン教室 受講者

▼対象〓市内在住・在勤者(児童・生徒・学生は除く) ▼時間〓午後7時30分～10時 ▼場所〓渥美文化会館 ▼定員〓各コース20名(申込者多数の場合は抽選) ▼受講料〓無料(テキスト代などは実費負担)
▼講師〓渥美パソコン研究会会員
▼申し込み〓11月4日(火)までに電話またはFAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合は住所・氏名・電話番号・生年月日・コース名を明記)
▼生涯学習課
23局3531 FAX 22局3811

syogaku@city.tahara.aichi.jp

パソコン教室

コース	開催日
初心者教室	11月11日(火)～14日(金)
ワード	11月18日(火)・19日(水)
エクセル	11月20日(木)・21日(金)
年賀状作成	11月27日(木)・28日(金)



パブリックコメント 意見募集!

地球温暖化防止都市宣言について

募集期間 ▶ 9月16日(火)～10月6日(月)

市民・事業者・行政が一体となり、温室効果ガス削減目標の達成に向けて地球温暖化防止対策を促進するため、地球温暖化防止都市宣言を行うものです。

担当室 ▶ エコエネ推進室

23局7401 FAX 22局3817

ekoene@city.tahara.aichi.jp

パブリックコメント手続制度に基づき、以下の案件について意見を募集します。



意見提出方法

公表場所へ持参 郵便 FAX Eメール
住所、氏名、電話番号を明記のうえ、意見を提出してください。(個々の意見には直接回答いたしません。)

公表場所

市役所エコエネ推進室、市民生活課(赤羽根支所・渥美支所)、中央図書館、市ホームページ(<http://www.city.tahara.aichi.jp>)

第3回キャリア・デザイン講座 参加者

▼テーマ＝高校生が発明した四角いメロン カクメロ物語 ―自由な発想から無限の可能性― ▼講師＝愛知県立渥美農業高等学校教諭 加藤俊樹氏 ▼対象＝カクメロについて知りたい方 ▼日時＝10月4日（土）午後1時30分～3時 ▼場所＝田原文化会館201会議室 ▼定員＝30名（先着順）▼参加料＝無料 ▼申し込み＝10月3日（金）までに直接または電話にて ▼中央図書館 23局4946 FAX 23局4646

カクメロの
ヒミツ...



じゃん田原りん踊りコンテスト 参加チーム

第6回田原市民まつりのファイナルを飾る「じゃん田原りん踊りコンテスト2008」参加チームを募集しています。
▼日時＝10月26日（日）午後5時～

▼場所＝田原町はなとき通り一帯（雨天の場合は総合体育館アリーナ）

▼参加資格＝1チーム5名以上（中学生以下は保護者同伴／申込者多数の場合は抽選） ▼申し込み＝9月30日（火）までに募集チラシの参加申込書に必要事項を記入のうえ持参またはFAXにて ▼その他＝参加申込書は市ホームページからもダウンロードできます。

▼田原市民まつり実行委員会事務局（商工観光課内） 23局3516 FAX 22局3817

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

牛乳・乳製品料理教室

参加者

農村の生活改善に取り組む「農村輝きネット・あつみ」の会員と一緒に、ミルクのおいしさを発見する料理を作ってみませんか。

▼対象＝市内在住の女性 ▼日時＝10月28日（火）午前10時～正午
▼場所＝サンテパルクたはら（体験工房2番館） ▼定員＝30名（先着順） ▼参加料＝無料 ▼持参するもの＝エプロン、三角巾（バンダナ）、筆記用具 ▼申し込み＝電話またはFAXにて（FAXの場合は住所・氏名・電話番号を明記） ▼その他＝詳しくはお問い合わせください。
▼東三河農林水産事務所 田原農業改良普及課（農村輝きネット・あつみ事務局） 22局0381 FAX 23局1304

生活

LIFE

水道料金などの コンビニ収納を開始します

水道料金・公共下水道使用料・農業集落排水施設使用料および汚水処理施設使用料は、10月15日郵送分の納入通知書から、コンビニエンスストアでの支払いが可能となります。なお、従来のバーコード表示のない納入通知書では、コンビニでの納付はできませんので、ご注意ください。

＊取扱い店（順不同）

セブンイレブン、ファミリーマート、サンクス、サークルK、デイリーヤマザキ、ローソン、ミニストップなど

▼水道課

23局3532 FAX 22局3184

▼下水道課

23局3525 FAX 22局3184

私立高等学校の授業料を 補助します

田原市では、私立高等学校に通うお子さんの保護者の負担を軽くするため、授業料の一部を補助しています。

▼対象＝10月1日現在、全日制または定時制の私立高等学校に通い、各学校の特待生または奨学生として授業料を免除されていない生徒の保護者（授業料負担者）で、市内在住の方 ▼補助の額＝1万2000円（年額） ▼手続き＝申請書、在学証明書、保護者名義の口座が確認できるもの、印鑑を持参して10月1日（水）～31日（金）に各高等学校または管理課へ提出 ▼管理課 23局3530 FAX 22局3811

表浜自然ふれあい フェスティバル

第11回

＊日時＝9月28日（日）

午前9時～午後1時

雨天の場合は11月24日（祝・月）に順延

＊場所＝久美原から大草までの表浜海岸一帯（親睦会場：大草海岸）

＊内容＝海岸のごみ拾いと親睦会

＊参加料＝無料・申込不要

＊主催＝田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会

＊問い合わせ＝企画課 23局3507

広がる未来へ

★たはらエコ・ガーデンシティ構想

温暖化防止に向けて

田 原市では、家庭からだけでなく盛んな産業活動などから多くの温室効果ガスが排出されています。温暖化防止のために、工場や事業所などでも省エネに対する取り組みを行うことが大切です。

産業部門（農業・漁業）

トラクターや乾燥機などの農業機械の定期的な点検・清掃と、効率的な利用を図りましょう。

エンジンのエアクリナーが詰まっていると、空気不足となり燃費が悪化します。

施設園芸の省エネ対策を実践しましょう。

施設園芸用のボイラーなどは、こまめに清掃することでエネルギー効率が約2%上がります。

こまめに清掃すれば、燃費もエネルギー効率も上がります。省エネにもなります。



29

産業部門（建設業・製造業ほか）
省エネ型の設備や機器の導入を図りましょう。

製造分野における省エネ型機器や、建設施工分野における低燃費型建設機械（ブルドーザー・バックホウなど）の導入を図りましょう。

節電などによる省エネを実践しましょう。

民生業務部門（商業、サービス、飲食、事務などの各業務）

昼休みの消灯や冷暖房の適正管理による節電など、省エネを実践しましょう。

環境マネジメントシステムやエコアクション21などの取り組みを実践しましょう。

1・2 企業、公共機関などが環境への取り組みを効果的に行うシステム

今月のエコライフ標語

エコの道
地球に生きる 人の道

▼エコエネ推進室

23局7401 FAX 22局3817



省資源とリサイクル

5

「あつまれ得するサマーフェア」で、買い物に利用するマイバッグの人気投票を行いました。今回は投票の結果をお知らせします。画像はイメージです。

総合ランキング発表

1位 得票数70票
男性・女性1位
10・20・40代1位

レジかご用で保冷もできるバッグです。



2位

得票数66票
女性2位・男性3位
30・50代・60歳以上1位

折りたためるレジかご用で保冷もできるバッグです。



3位

得票数43票
男性2位
10代2位・10歳未満3位

折りたためるレジかご用バッグです。



番外編（ほかに人気のあったもの）

子どもに大人気！



トートバッグにもなるレジかご用バッグです。



ペットボトルリサイクル商品です。



投票ではレジかご用のバッグに人気が集まりましたが、折りたたんで持ち歩けるものも人気がありました。皆さんも買いたい物にはお気に入りのマイバッグを使いましょう。



▼清掃管理課

23局3538 FAX 22局3817



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

交 流 通 信

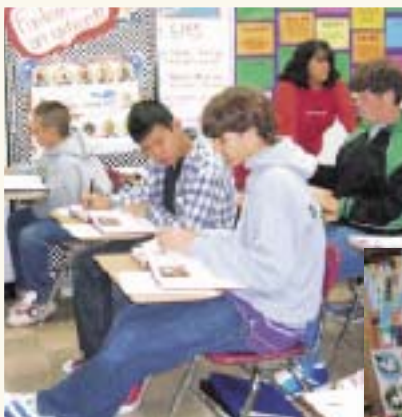
このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶企画課 ☎ 2 3 局 3 5 0 7

姉妹都市 アメリカ・ジョージタウン市との交流

ジョージタウン市は、
田原市最初の海外交流都市です。1990年の提携以降、中学生海外派遣事業や英語指導助手招へい事業などの教育交流を柱に、安定した交流を継続しています。今年もジョージタウン市の図書館関係者が新たな交流事業のきっかけづくりに来訪したほか、9月26日からは田原市の中学生がジョージタウン市を訪問し、体験入学やホームステイなどを通して、現地の文化などを学びます。

田原市とジョージタウン市は、2010年に姉妹都市提携20周年を迎えます。



◀ 中学生海外派遣事業

田原市の中学生が隔年でジョージタウン市を訪問。1週間ホームステイをしながら、現地の中学校に体験入学します。

▼ 田原風を手にするジョージタウン市の子どもたち

現在は、田原風やキルトづくりを通じた交流も行われています。



忍びよる巨大地震

のりんの

防災まめ知識

40

風水害に備えましょう

こんにちは、のりりんです。

9月は台風や大雨が多い時期です。台風や大雨はある程度予測できるとはいえ、近年は局地的な豪雨や強風が突発的に起こり、大きな被害をもたらしているの
で、注意が必要です。

今回は、風水害に
対する心構えを確認
しましょう。



■ 家の周りの点検を！

大雨や強風による被害を最小限にするため、家の周りの点検をしましょう。雨や風が強くなってきたから屋外に出るのは大変危険です。日ごろから定期的に点検しましょう。

【テレビなどのアンテナ】

しっかりと固定されていますか？

【窓ガラス】

ガラスのひび割れや窓枠のがたつきはありませんか？ 雨戸はきちんと閉まりますか？

【雨どい・排水溝】

落ち葉や土砂はつまっていませんか？ 雨どいの継ぎ目ははずれていませんか？

【ベランダ】

鉢植えや物干し竿、その他、飛ばされそうなものはありますか？

【屋根】

屋根瓦がずれたり、割れたりしていませんか？ トタン板はゆるんでいませんか？

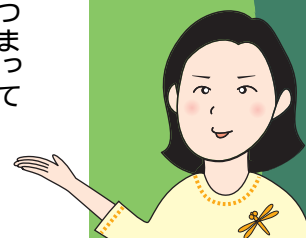
■ 気象情報に注意！

台風は、突然起きる地震とは違い、正確な情報を集めること

とで、被害を小さくすることができます。テレビやラジオなどで最新の情報を入手し、警報や注意報の発表、台風や前線などの動きに注意しましょう。



▼ 防災対策室 23局3548



歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
90



文化振興課 ☎23局 3635

FAX 22局 3811

「常春の里」とお花畑

前号紹介の『半島渥美』の目次で、赤羽根村の「常春の里」という項目に目がとまりました。この「常春の里」では、若戸校区で盛んだった種まきや花つみ、出荷の様子など、花の栽培について記されています。

花つみは若い女性の仕事でした。そこには「姉さん達の白い手拭に白のエプロン手甲をつけて、きちんとした身なりで真赤な金仙花畑に立つてゐる様子はほんたうに絵のやうです」と記されています。出荷最盛期



▲花つみの様子(昭和32年)

の1月のお花畑には、ミツバチが飛び、花を切るハサミの音が響いていました。当時の児童が書いた「常春の里」の情景は、美しい花に包まれた温暖な渥美半島の姿でした。

さて、この「常春」の気候を利用した最初の作物はエンドウで、明治終わりから栽培され、大正10年ごろには「渥美絹莢豌豆」の名で全国に知れ渡りました。大山山麓の越戸、土田、和地では特に盛んでしたが、連作ができないため、その間を埋めるため昭和初期から露地の花卉栽培が始まりました。8月下旬に種をまき、最も寒い12月下旬から2月に出荷していました。栽培されていたのは、キンセンカ、ヤグルマギク、ノ



▲若戸校区のお花畑(昭和52年)

ポリフジ、アブラナなどです。昭和38年発行の三河湾国定公園のガイドブックにも、大山山麓の「お花畑」が紹介されています。また、渥美半島を訪れた種田山頭火(昭和14年)、寺田透(昭和26年)、井上靖(昭和29年)、武田泰淳(昭和44年)などの文学者たちも、「お花畑」を渥美半島の印象的な景観として、それぞれの作品に記しています。

戦後、観光ブームとマイカーブームに乗り、たくさんのお花に彩られた美しい渥美半島には、多くの観光客が足を運んでいます。そして、昭和36年にフラワーセンターが開園(平

成17年閉園)したのは、渥美半島の観光シンボルが、自然と渥美半島に住む人たちの生業と結びついた景観から人工的な施設へと移っていく象徴的な出来事でした。

渥美半島の初期の花卉栽培は、温暖な気候を利用して、他の生産地の花のない時期を狙って出荷し成功を収めました。この気候をはじめとする風土は、地域の貴重な資源です。それに気付き、いち早く産業と結びつけた先人たちに頭が下がる思いです。

他の地域では、まねをすることの出来ないこの温暖な気候という資源つまり「常春の里」という意味を今一度、見直す必要があるでしょう。

(増山)

今月の「表紙」

▼皆さんはキレイな花を見て、幸せな気分になることはありますか? 野山や沿道に咲く花に季節を感じ、元気をもらうことも多い。咲き誇るコスモスの花に、育てている地域の方の笑顔が重なって見えました。花いっぱい、笑顔いっぱい田原市になったらステキですね。(〇)

【表紙の写真】和地校区のコスモス畑